



Valon muoto — ヴァロン ムオト（光の形） — ～冬から春へ、光の移ろいが描く色と模様～

〈着想〉

暗く静かな冬を照らす凛とした光から、世界をあたたく包み込む春の光へ。
 北欧の厳しい冬が明け、光の表情がやわらかく変化していく季節の移ろいを、
 一皿に表現しました。プレート上部から下部へ視線を巡らせることで、
 冬の澄んだ光の中に輝く「雪の結晶」が、少しずつ光の温もりを帯び、やがて
 爛漫と咲き誇る「春の花」へと姿を変えていくストーリーを感じていただけます。

〈モチーフ〉

- 上部の白・青（ブッシュドルッセ・カレドーリャック）
 ...冬の静寂と澄んだ空気の中に差し込む冬の光（雪の結晶）
- 下部の黄・オレンジ（コンテ・ミモレット）
 ...世界をあたたく照らし、芽吹きを促す春の光（春の花）
- 黒・茶の土台（チャコール&ウィートクラッカー）
 ...光の色彩を引き立てる、北欧の大地と森
- 中央のグラデーションドット（貴腐ワインレーズン／蜂蜜／ジャム）
 ...冬の光がほどけ、春の光へと移ろう、光のグラデーション

〈模様のうちから〉

マリメッコが大切にする「手仕事のぬくもり」「色の響き合い」「自由で前向きな精神」を、幾何学的な配置と色彩の移ろいで表現しました。同じ三角形のチーズでありながら、色と配置が変化することで、「雪の結晶」から「春の花」へと表情を変えていく。そして、中央に配したドットが全体をつなぎ、異なる色や形にリズムを生み出します。

光は形を持たないけれど、色と模様によって、その姿を感じることができる。
冬から春へと移ろう光を、色と形、そして模様として一皿に描きました。

「模様のうちから」が生み出す、“光の形”を感じていただけるプレートです。

¥ 1 4 9 0 （税込） /1plate

※入荷状況により代品のご用意となる場合がございます。 何卒ご了承くださいませ。

「マリメッコ展 模様のうちから

Marimekko: Art of Printmaking -Beauty, Dream, Love」

会期 | 2026 年 10 月 3 日（土）—12 月 20 日（日）

会場 | 東京都庭園美術館（東京都港区白金台 5-21-9）